



たーる。

議会だより

令和7(2025)年11月14日【第180号】

興部町A L T カール・ハインツ先生

- 第3回町議会定例会 2時～3時・7時～8時
- 町政ここが聞きたい 3時～6時
- 各会計歳入歳出決算認定 9時～11時
- 北海道町村議会・遠軽地区市町村議会議員研修会 12時～13時
- 議員なり手不足検討特別委員会行政視察報告 14時～15時
- 議員報酬改定の申し入れを行いました 15時～16時
- 総務社会・産業建設常任委員会所管事務調査報告 17時～18時
- 議員活動報告・議会の動き 19時
- 今回の表紙・編集後記 20時

令和7年第3回 町議会定例会のあらまし

令和7年第3回定例会は、9月8日(月)開会され、行政報告、議案14件、認定1件、同意1件、報告2件、選挙1件、発議1件、計20案件が審議され、19日提案されたすべての案件の審議が終了し閉会しました。

町長行政報告 (9月8日)

興部町において交付した補助金の取り消し及び返還命令について

7月29日付けで旭川地方裁判所紋別支部に対し、補助金返還請求訴訟を提起する訴状等を提出いたしました。これにより、第1回口頭弁論の期日が9月17日に開廷される予定となっております。

交通死亡事故の発生について

8月23日午前10時50分頃宇津地区の国道239号線で、町外の女性が運転していた軽トラックが路外に逸脱して電柱に衝突した単独事故で死亡する痛ましい事故が発生しました。

この事故により、令和5年7月7日に発生した死亡事故から777日で「興部町交通安全死亡事故ゼロ」

はストップとなりました。

前回の死亡事故から興部警察署をはじめ、町内の交通安全関係団体の方々は、交通安全の推進に多大なるご貢献をいただいておりますが、今後も町民の皆様と交通安全関係団体及び各団体、各事業所と一体となった取り組みの強化を図り、二度と悲惨な交通事故が起きないように引き続き交通安全の啓蒙・啓発に努めていきます。

農作物の作況

本年の1番牧草は、6月の降水がやや少なく、気温が高く推移したことにより、生育は平年より進み、収量は全体としてやや多めでしたが、圃場ごとの差が大きく見られました。

また、収穫は平年より早く始まりましたが、降水等により、終了は平年より遅くなったところです。

2番牧草は、気温が平年より高く推移したことに加

え、降水が少なかったことから生育は緩慢で、収量は平年並からやや少なくなっています。

また、収穫は平年より早く始まりましたが、8月の不安定な気象により進捗は遅れています。

飼料用トウモロコシについては、5月以降、降水がやや少なく、気温が高く推移していることから、子実の成熟についても同様に平年より大きく早まっています。

生乳生産

8月31日現在、4万7千76tで、計画対比96・6%、前年対比98・7%となっています。

林業関係の状況

本年度計画していました造林地の下刈、宮下地区の皆伐工事については事業を完了し、朝日地区の植栽工事については、発注済みです。

漁業生産の状況

8月末現在、全体水揚量は、1万3千395tで、前年同期比905tの減となっています。主な漁獲量については、毛ガニ漁では、計画対比100%の53・6tで、漁獲許容量を全量消化し、5月2日に漁を終えています。ホタテ漁では、計画対比67%の1万2千140t、前年同期比837tの減です。

また、マス定置網漁は7月12日に水揚げが開始され、前年同期比77t減の113t、サケ定置網漁は9月4日より水揚げが開始されており、漁獲量及び価格ともに、今後の好漁を期待するところです。

建設工事の発注状況

9月1日現在で、土木・水道工事80%、建築工事88%となっています。

なお、残余の工事についても準備が整い次第、随時発注していきます。

町長行政報告

(9月19日)

興部町において交付した補助金の取り消し及び返還命令について

9月17日に旭川地方裁判所紋別支部において、第1回口頭弁論が開廷され、訴状について原告側、被告側双方に対して内容の確認が行われました。

次回は、10月17日開廷予定となっています。

町政ここが聞きたい!!

一般質問

問

住民票や印鑑登録証明書等のコンビニ交付の導入時期について

桑辺博教議員

答

令和8年度後半から令和9年度にかけての導入が可能か検討中

一寿町長



桑辺 議員

令和6年第4回定例会にて住民票や印鑑登録証明書等のコンビニ交付の導入について伺ったところ、導入はしたいが来年度にガバメントクラウドを使用した標準移行作業があり令和7年度から令和8年度までかかると思うので、令和8年度後半から令和9年度にかけて導入を考えると答弁されました。

7月8日に札幌コンベンションセンターにて、北海道町村議会議員研修会があり、2名の講師の講演を聞いてきました。その一人が現在、人口戦略会議副議長で元岩手県知事、元総務大臣の増田寛也氏でした。増田氏は、人口減少社会を生き抜くためにと題して、地方創生2・0基本構想の概要について話されました。

数多くの政策パッケージの中で人や企業の地方分散として、ふるさと住民登録制度の創設や二地域居住があり、これは住所以外の地域に登録をして、その地域を応援したり二地域に生活拠点を置き、関係人口の創出、拡大を図るものです。こういうものが進められればコンビニ交付の需要が高くなると考えられ早期の導入が望まれます。

そこでコンビニ交付の導入時期についてですが、ガバメントクラウドの移行作業が年内の12月に終了し、翌1月にシステムテスト、2月の確定申告時期に合わ

せて運用開始と聞いています。作業工程が以前話されていたより順調に早く進んでいます。コンビニ交付の導入時期はいつになるか伺います。

一寿町長

今、全国の自治体がクラウドで結ばれるような標準化移行作業をしています。

この作業は、大変順調に進んでおり来年の1月26日に終了する予定です。また、戸籍の附票システムの標準化も併せて進めており来年の2月24日に終了する予定です。

これを受けてテスト等もあるので連携開始が3月10日と事務方では予定しています。

令和6年第4回定例会の一般質問で標準化作業の導入費用、システム維持管理費、数年ごとのソフト改修費等で自治体負担が大きくなるというお答えでしたが、導入費用は国が面倒を見てくれますが、システム維持管理費が興部町の場合1千

700万円かかると言われていたが3千万円を超えるのではないかと言う話がある。それがまだはつきりしていませんし、北海道町村会で国に負担すべきと求めているが実際に負担するか明確ではありません。

また全国統一する回線を使用するので不明確ですが、回線がパンクする可能性はあるという話も聞いています。

このようなことを見極めさせていただき令和6年のときに、この移行関係が見えた段階でコンビニ交付を導入する話をしていきますので、現状いつからとは言えませんが、前回お答えしたように、令和8年度後半から令和9年度にかけて導入が可能か否かを検討中であるとお答えできないところではあります。

桑 辺 議 員

コスト面の話ですが、どの事業も我々がやって欲しい

いと言っても財源が限られていますので、その辺は理解させていただきました。導入時期に関して厳しい部分もあるかもしれませんが、後回しにはせず少しずつ

つでもいいから準備を進めていただき最適な補助事業を活用し財政的なところをコントロールして、少しでも早く導入し住民サービスの向上に努めてください。

問

ヒグマ対策について要望のある射撃場の整備を前向きに検討すべきでは

鈴木精一 議員

答

適地があり、今後進めたい

碓 一寿 町長



鈴木 議員

9月1日から市町村長の判断で、緊急銃猟として市街地でも熊などの捕獲に銃が使えるようになった。

現場での指揮は産業振興課長になるが、駆除の専門

確保が不十分な状況や法的責任のリスクがあった場合、発砲を中止できるとした。このような状況の中、ハンターとの信頼関係を構築し、緊急銃猟が的確になされるよう訓練を早期に実施すべきと思うが。

碓 町 長

緊急銃猟の一番の問題は、撃つときに玉がはね返らないように土手や山の斜面とか、そこで玉がめり込んで反射しないようにすることが最低条件。その時に従来からの警察官職務執行法でやれば、はね返った弾で死亡したとしても刑事罰に処せられない。ところが、緊急銃猟でやった場合、刑事罰の問題について大丈夫とは法律に書いてない。実際に現場で命令してやったとしても、13項目をクリアしないと撃てない。

ヒグマが移動している間は全く撃てず緊急銃猟では非常に難しい。今回の法律には不備があるということ

で、既に全道町村会、道議会或いは国会議員の先生方にもこの話はしている。

訓練については環境省が主催しており、その研修を受けた上で猟友会とも連携をし対応したい。

緊急銃猟では警察官職務執行法と関係ないので警察官の協力はあるが、前面に出ることはない。ただし同執行法はまだ生きているので、今までと同じような取り扱いはできる。どういう時にその区分けをするのかは判らないという中で、当面は市街地に出た場合は山に帰ってもらうような対策でやらざるをえない。

鈴木 議員

7月31日興部警察署主催の市街地へのヒグマ出没対応訓練において、猟友会興部部会からヒグマが通る森林帯の回廊を草刈や木の伐採でなくすることが重要との指摘がなされた。

町は今年度新規事業として、ヒグマ対策用草刈業務委

託料40万円を計上。興部小学校と中学校の裏手2か所ですぐに実施済みと聞いているが、いずれも町有地。

ヒグマによる被害の可能性がある中、少しでも通る場所や潜む場所をなくすため、地域住民自らが協力して命を守っていかなくてはならない。

地域住民や自治会連合会に協力願って、放置されている私有地等に草刈の支援や草刈り機の貸し出しなど新たな事業を展開してはどうか。

碓 町 長

町内において出沒しやすい地域というのは草丈が非常に高くて隠れやすい状況になっている。予防としてはこれが一番の問題であり、対処していかなくてはならない。

春先に、電気の線にツタが絡まり漏電して火災が発生。北電から電柱、電線下の木の伐採事業を来年度から実施したいとの申し入れ

があり、1つの対策と思う。

また、ヒグマの回廊について、町有地に関しての重点的な草刈りは、計画的にやらなければならない。

提案された草刈り機の貸し出しについては、怪我した場合の補償の問題等があるので、できるだけご自分でやってもらい、そこに応援する形を考えたい。或いは完全な委託の形で順番に刈っていくということも含めて検討したい。できれば来年度予算に少し大きく反映させたい。

鈴木 議員

町内の射撃場の整備については、平成26年に北海道猟友会興部支部興部部会から地元射撃場の整備に係る要請が出されている。理由としては、ヒグマ等に対する発砲で適切な箇所に命中しないと半矢(手負い)となり逃げられて、人畜などへの2次被害が懸念される。今回の法改正によって緊急銃猟の可能性が高まるこ

とが想定されるが、必ず仕留めなければならないという状況と併せ、ハンターの安全確保が必要で、300m規模の施設を希望するという内容。

碓 町 長

要望時は西興部村の射撃場に通う経費の支援と今後検討するとの内容で合意した。すでに猟友会と相談して適地を見つけており、ぜひ建設したい。

一方、雄武、西興部、興部3町村で事務レベルではあるが、協議会を設置。現状は、興部のハンターは興部町内でしか駆除はできず、雄武に行つて撃つことはできない。ヒグマの生活圏は広範囲であり、3町村のハンターが協力して撃てる、捕獲できるような形を

道に要望したい。

また、一般職員の訓練や専門職の養成、猟友会員の

技術向上や担い手の育成、また射撃練習場についても検討したい。

問

給食の早期無償化と食を中心に据えた教育と町づくりを！

大黒敦子議員

答

認定保育園の開園と同時に無償化を進める

碓 一寿町 長

答

国の無償化を待つて小中学校同時に開始する

畑山研二教育長



大黒 議員

令和4年の藤渡議員の給食無償化についての一般質問に対し町長、教育長とも認定保育園の開園を契機に考えたいと答えている。

国では令和8年度に小学

生から無償化を進める考えを打ち出した。制度設計がかなり難航しているようだが、無償化は確実に進んでいくと考える。

認定保育園開始を契機とした給食無償化に、どのような考え方を持っているか。また、国の制度が始まったとき、中学生の給食はどうするのか。質や量の低下、保護者の意識の低下に対してどのような対策を考えるか。

碓町長

幼児、保育の関係については、令和元年10月より国の無償化に伴い無償化を検討したが、幼稚園で副食を作ることが困難なことから、保育所では3歳以上4千500円を負担していただいていた。

認定こども園開園に合わせて、国の基準である4千900円を全額補助して保護者の負担をなくしていく。町外の保育所に通う子どもたちも、4千900円を上限に町で補助していく。

畑山教育長

学校給食は、食費は基本的に個人に帰すべきものであり、保護者からの要望も届いていない。未払いもない。今まで通り物価高騰分の食材費は町で負担していく。

国の制度開始時は、小学校の無償化と同時に保護者負担の公平性の観点から、中学校も無償化を実施する。制度設計の内容が示され

てから対応を検討していくが、保護者が関心をしっかりと持っていただき、無償化による質の低下を招かないよう給食運営委員会や学校、保護者の意見を聞きながら判断していきたい。

大黒議員

国の無償化にあたり、地元や道産の食材が今以上に使用できるような環境整備と、興部の中でどんな給食で子供たちを育てていくかの共通認識を持つことが必要と考える。

興部町は漁業や酪農が盛んで豊かな食材に恵まれている。だからこそ、国の制度を待つのではなく、町が率先して給食の無償化に取り組むべきだ。無償化を望む多くの保護者の声を聞いてきた。財源については、ふるさと納税の利用が制度の趣旨にも合致すると思

畑山教育長

物価高騰で食材費が高騰しても保護者の負担をこれ

以上求めない中で、全面的な無償化を実施する考えはない。

財政負担の観点ではなく、学校給食の健全な在り方として、保護者にも一定の負担をお願いし提供体制を維持していく。

碓町長

無償化になったとしても町としては地域の豊かな食材を給食に反映させ、さらに強化していく。

町が先行して学校給食の無償化は考えない。

大黒議員

教育長の言われる健全な給食の在り方と無償化は、別の次元での話だと思

う。ここからは地域教育の中の食の役割について伺う。

第一次産業が町の基盤となっている地域なので、地域教育として食は重要な役割を果たす。「食育」にとどまらず、食を支える農業や漁業などの知識、体験を含む「食農教育」を地域教育の柱として位置付けるべき

と考える。

各年代に合わせた、一貫性のあるプログラムを構築する必要がある。興部だからこそできる、独自の地域教育の在り方を考えるべきではないか。

畑山教育長

教育委員会としては、地域教育として町の産業や歴史、伝統行事、町が進めている特徴的な事業を知ってもらい、見る、体験する機会を多く提供していきたい。

子どもたちがふるさとに興味を持ち、食だけでなくいろいろなもので心豊かであってほしい地域で育っているような取り組みを家庭、地域、学校場で進めていく。

大黒議員

食を軸とした街づくりの提案をさせていただく。

興部町食育推進計画の中でも、産業と食育の関係性が重要視されている。食はあらゆる営みの交点である。食は町の歴史そのもの

であり、世代や立場を問わず誰もが直感的に受け入れられる、町づくりの旗印となるものである。

食を生産する環境を守り、地域の食文化を継承発展させる事。そして、次の世代に食の価値を伝えていく事は、町の独自性と誇りを明確にし、地域づくりの基盤となる。

食を大事にする興部を外に示すためにも、食の町づくり条例の制定を提案する。これは、町づくりゼロカーボン推進条例とも共存し、協調する条例である。

碓町長

興部町食育推進計画が令和9年までで、次の総合計画との改定と一致する。その時点で反映できないかも知れぬ、どのような位置づけにするかは今の段階では未定だが、今後もそれぞれのセクションで意見交換しながら考えて参りたい。

令和7年度興部町一般会計補正予算(第3号)

補正額は、5千489万円を追加し、歳入歳出それぞれ66億3千658万円とし、原案どおり可決しました。

歳出の主なもの

○興部町農業経営発展支援事業

1千200万円増

〔農業経営継承時等の支援に係る補助金〕

○ゼロカーボンプロジェクト事業

1千50万円増

〔農林漁業循環経済先導計画策定支援業務委託料、ゼロカーボン推進会議委員報酬、費用弁償等の経費〕

○低所得者支援及び定額減税補足給付金(不足額給付分)事業

1千36万円増

〔令和6年分所得税及び定額減税の実績額確定による当初調整給付額との差

額給付金の支給に係る経費〕

○町道維持管理事業

900万円増

〔作業車の故障及び凍上等による路面の修繕料〕

○森林環境保全整備事業

391万円増

〔民有林森林整備における国・道補助金の不採択となった保育間伐事業の補助金〕

○地域情報通信基盤整備事業

280万円増

〔樹木による光ケーブルの切断発生に伴う支障木の伐採等に伴う経費〕

○商工会振興補助事業

200万円増

〔商工会が発行するプレミアム商品券の発行事業に伴う経費の補助〕

○基金運営事業

390万円減

〔森林環境譲与税の他事業への充当額の増に伴う森林振興基金積立金元金の減額〕

令和7年度興部町一般会計補正予算(第4号)

補正額は、800万円を追加し、歳入歳出それぞれ66億4千458万円とし、原案どおり可決しました。

歳出の主なもの

○簡易水道事業会計負担金

800万円増

〔簡易水道事業会計への負担金〕

特別会計等補正予算

特別会計等5会計で補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

①令和7年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、補正前と同額で、総額5億7千591万円としました。

・ガバメントクラウド移行に伴うクラウド利用料の請求方法の変更による予算の組み替え

②令和7年度興部町介護保

険事業特別会計補正予算の増額

(第1号)

補正額は、1千631万

円を追加し、総額3億9千388万円としました。

・職員人件費に係る超過勤務手当の増額、令和6年度介護給付費・地域支援事業の確定に伴う償還金の増額

③令和7年度興部町簡易水道事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的支出の簡易水道事業費用を192万円増額し、支出総額を2億7千945万円としました。

・給水車運転及び検査手数料の増額

資本的収入及び支出の資本的収入を1千650万円増額し、収入総額を9千32万円とし、資本的支出を1千650万円増額し、支出総額を1億4千916万円としました。

・収入で、企業債の増額及び他会計負担金の減額

・支出で、国道238号水道管道路横断工事請負費

④令和7年度興部町簡易水道事業会計補正予算

(第3号)

補正額は、収益的収入及び支出の簡易水道事業収益を800万円増額し、収入総額を3億1千336万円とし、簡易水道事業費用を800万円増額し、支出総額を2億8千745万円としました。

・興部浄水場の濁度・色度計の修繕費の増額

⑤令和7年度興部町公共下水道事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的支出の下水道事業費用を100万円増額し、支出総額2億6千949万円としました。

・終末処理場修繕経費の増額

⑥令和7年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的支出の病院事業費用を220万円増額し、支出総額を8億7千760万円としました。

・病院経営状況及び医療体制の構築に向けた国保病院経営分析業務委託の経費の増額等

改正された条例・規約

○町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例

○町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

その他議決された案件

○地上デジタルテレビ放送再送信設備更新工事請負契約の締結

契約金額 5千588万円

契約の相手方

N T T 東日本株式会社

北海道事業部

興部町教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、酒谷智治氏を任命同意しました。

興部町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

任期満了となる同委員・補充員の選挙を行い、次の方々が当選されました。

○選挙管理委員

・本 町 神田 泰彦氏

・仲 町 橋本 恵氏

・幸 町 細川 明氏

・旭 町 中村 周平氏

○補充員

・春日 町 山崎 重氏

・沙留海運町 坂本 亨憲氏

・泉 町 大池 康博氏

・元 町 竹村小百合氏

報告された案件

○令和6年度普通会計等財政健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告

○令和6年度興部町一般会計予算継続費精算報告書の報告

意見書の採択

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 鈴木 精一議員

賛成者 竹内 清議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 阿部 昭一議員

・北海道は、豊かな自然、広大な大地、冷涼な気候などの特性と豊富な再生可能エネルギーをはじめ、我が国最大の供給力を有する農林水産物、自然や文化を生かした魅力的で質の高い観光資源といった数多くのポテンシャルを有しており、これらの独自性や優位性を生かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など、多くの課題を抱えている。

こうした課題を解消し、人流・物流の効率化による生産性向上及び国際競争力の強化や、激甚化・頻発化する大規模災害に備えた強靱な地域づくりを進めるためにも本道の骨格を形成する高規格道路から身近な市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進するとともに、積雪寒冷地である本道では、安定した除排雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を確保することが必要である。

山積する道路整備の課題に対応しながら計画的かつ長期安定的な道路整備や維持管理が進められるよう、必要な予算を確保すること。人流、物流の活性化による生産性向上に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消や、高規格道路と直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築、暫定2車線区間の4車線化や耐震補強等の機能強化など、

国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワーク整備を促進すること。

冬期における安全な道路交通の確保、通学路などの交通安全対策の推進など、地域の暮らしを支える道路整備や除排雪を含む維持管理の充実が図られるよう、必要な予算を確保すること等を求める意見書を提出する。



令和6年度 各会計歳入歳出決算認定

令和6年度興部町各会計決算認定は、議員全員による決算審査特別委員会が設置され、委員長に鈴木精一委員、副委員長に前田義雄委員を選出しました。同委員会は、9月8日、16日、17日の3日間にわたり全体会議方式で詳細に審査を行い、採決の結果、原案どおり認定しました。

特別委員会は、『国の補助事業である、小学校・中学校の校舎等改修事業において、不適切な事務処理により、「学校施設環境改善交付金」が受けられなかった件について、行政に対する町民の信頼を著しく

失墜させる結果となったことから、しっかりと反省を行い、再発防止に万全を期すことを強く求める。』ことを意見・指摘事項としました。

また、審査の過程において、『一般会計及び特別会計等での職員の超過勤務手当に關し、当初予算に対し増額補正を行っていることが見受けられたため、時間外労働に対する、職員の働き方改革、勤務実態、勤務体制について、なお一層配慮していく必要がある。』と意見があったことが報告されました。

決算審査特別 委員会での質疑

【総務課所管事項】

（桑辺 博教 委員）

Q 健康診断の受診者が少ないため執行残があるという説明だが、職員の健康管理をする上で受診してもらえないようにした方がよいのではないか。

A 職員の中には健康診断は受診していないが、定期的

に通院している方がおり、その方は診断結果を共済組合に報告して、みなし健診としています。それでも健康診断を受診しない方も数名いるので、受診するように働きかけていきます。

（竹内 清 委員）

Q 総務費の一般管理費での報酬、給料、職員手当等が増額補正を行っているが、この決算書では、この内超過勤務手当が当初予算1千

万円に対しいくら増額し、決算額がいくらになったのか全く見えないので職員手当等の中の超過勤務手当の実際の支出額を教えてください。

A 超過勤務手当の実績は、当初予算1千万円に対し、増額補正額が350万円で合計1千350万円の予算となっています。実際の支出額は、1千323万3千993円、不用額が26万6千円となっています。

【まちづくり推進課 所管事項】

（桑辺 博教 委員）

Q バイオマス事業の進捗状況はどうなっているのか。

A 大阪大学及び各企業と取り組んでいる、メタノール・ギ酸製造共同研究については、北海道から3年間の補助を受けて進めており、今年度が最終年となっています。

この研究は世界を含めて初めての研究であることから、進捗としては当初の計

画から遅れている状況であるが、ゼロカーボンに繋がる取り組みでもあることから、ギ酸については町内酪農家に供給を図ることを目標に、今後も継続して研究を進めていきます。

（大黒 敦子 委員）

Q バイオマス事業運営収益の予算との増減は。

特にガス売り払い金の代金が予算よりも500万円ぐらい少なくなっている理由は。

A バイオガスプラント運営事業における収入は、使用料では718万8千526円、生産物売払代金では、バイオガス2千813万5千405円、戻し堆肥敷料49万3千689円、一般家庭への消化液販売1万1千400円です。

バイオガス売払代金が予算より少なかった理由は、発電機等の故障によりガスの供給量が減少したためです。
Q 興部町観光協会補助金のうち、496万円は、高校

令和6年度 各会計歳入歳出決算認定

生の特産品、商品開発事業分であるが、6年度で補助は終了している。4年間実施した事業効果は。

A 町の特産品を高校生のアイデアから商品開発を考え、企業の雇用確保と特色ある学校づくり、そして町の活性化に繋げる事業として、令和3年度から6年度まで実施してきました。

その中で、昆布ラーメンとピザは商品化され、昆布ラーメンは、現在、道の駅での販売やふるさと納税の返礼品として取扱いされています。

また、事業を通して、卒業生の一人が観光協会に就職されており、その他でも、卒業後の進路に、活動に係った学校に進学をされた生徒もいると聞きましており、事業としての一定の成果はあつ

たものと考えています。

Q 成果はあったとのことだが、授業で行なっていることなので一番は生徒に対してこの補助事業が適切だったかどうかのではないかと。

生徒が講師のやり方についていけないかったという話も聞いている。

補助金を出している以上、毎年の検証は必要だと思ふし、任せつきりになつていなかったか。

A この事業は、観光協会が学校と連携し、事業者等の協力をいただき実施する事業であり、町では毎年度、観光協会から実績報告を受けて内容を確認している。

また、高校生からは、考えたアイデアについて、プレゼンテーションを通じて報告をいただき、今年、道の駅の窓際にカウンターと携帯の充電ができる電源を整備させていただきました。

生徒から直接的にお聞きはしていませんが、先生及

び観光協会とは事業の内容等についてお話しを聞いており、令和7年度からは、高校では生徒が主体的となつて実施するプログラムに見直しをするとのことから、補助は令和6年で終了としています。

〔竹内 清委員〕

Q 昨年の決算委員会で、「ふるさと納税について、町が積極的に関わり更なる取り組みを進めるべき」との意見指摘事項を受けての取り組みについて、結果増えているが、具体的な取り組みについて聞きたい。

A 事業者及び観光協会との連携について、打合せの強化とポータルサイトの確認を行い、その中で、返礼品の主力であるホタテについては、ホタテから他の特産品へと選ばれることから、沙留漁協とは、在庫の確認などを観光協会と連携を取りながら行ってきました。引き続き連携を密にしなが

〔住民課所管事項〕

〔大黒 敦子委員〕

Q 合併浄化槽事業について、工事費高騰により、制度が出来たときと比べて個人負担が大きくなっているのではないかと。

工事基準額の見直し等が必要ではないのか。

A 平成22年に要綱ができてから、基準額の見直しが行われていません。この間、浄化槽の躯体価格、人件費等の高騰で値上がりしているのは確かであるため、今年度に検討します。

〔福祉保健課所管事項〕

〔竹内 清委員〕

Q 予防費の保健予防事業当初予算90万円に対し、65万円。エキノコックス委託料52万円に対し32万円。決算額が減ったから良いというものではないと思う。エキノコックスは、早期発見で、

外科的手術で完治できるが、発見が遅いと一生薬を

飲み続けなくてはいけない危険な病気だと思っています。感染が発覚した人も出ていますので、改めて関心が減つてきている町民に対し、検診の大切さを説明していただきたいと思います。

A エキノコックス症検診については、対象者に個別で周知して検査していただいています。検査日に所用等により検査できなかった方には翌年に再度案内を行い検査をしてもらっています。が、案内を行っても検査しない方もいることから検査の必要性を再度周知していきます。

Q 社会福祉総務費の高齢者外出支援ハイヤー等利用助成金ですが、興部24枚、豊野・秋里36枚、沙留60枚とありますが、これはタクシー料金の差だと思ふんですが、例えば沙留の高齢者が国保病院に往復タクシーを使うと2回半でもう無いんです。

興部市街は町のバスが走っている。豊野・秋里は、

スクールバスに乗れる。色々なところで地域の格差が違ってきている。不用額が出たではなく、足りないと言っている人もいます。

循環バスやスクールバスが無く病院に通えなく困っている町民もいるので、枚数についても一度きちんと精査していくべきではないか。

【A】他の地区の高齢者からも見直しの要望があり、検討します。

【教育委員会管理課 所管事項】

（大黒 敦子 委員）

【Q】興部高校入学時の支援補助の内訳が、授業料相当額の12か月となっているが、高校の授業料が無償化されている現在、計算基礎に授業料の名目が出てくるのは、違うのではないか。

【A】興部高校の支援策として、当初は授業料を

町が補助する仕組みでスタートしたが、国が授業料を無償化したことから、授業料の相当額分を入学準備費用に充ててもらうことで、この補助支援が継続になったものです。

【教育委員会社会教育課 所管事項】

（桑辺 博教 委員）

【Q】トレーニングセンターのバスケットボールコートやバレーボールコートのラインが旧規格になつていて、いつ直すつもりか。

【A】今年度は予算計上していないので、令和8年度に予算計上しようと考えています。

【介護支援課所管事項】

（竹内 清 委員）

【Q】介護保険事業特別会計の職員手当523万円で支出額512万6千円とある

が、この中の超過勤務手当、当初予算18万円に対し、最終的予算額、決算額を聞きたい。

【A】当初、地域包括支援センター職員1名分の超過勤務手当として18万円を計上。4月の人事異動により、2名分の人件費を支出することとなったため不足が生じ、6月と12月に増額補正。最終的な予算額は37万円、決算額は36万3千560円となっています。

【上下水道課所管事項】

（竹内 清 委員）

【Q】上下水道課、少ない人員で頑張っておられると本当に思っています。そんな中で総務費の手当当初予算額977万円に対し補正148万円、決算額958万円

となっているが、この中の超過勤務手当について、当初予算100万円に対し増額補正を行っているが、最終的に6年度超過勤務手当額と決算額を聞きたい。

【A】超過勤務手当については、収益的支出と資本的支出に予算が組まれており、当初予算の合計額は、144万

円で、最終的に100万円増額して244万円となり、決算額は、242万8千960円となっています。

【国民健康保険病院 所管事項】

（大黒 敦子 委員）

【Q】経営改善の方策として、入院の稼働率を上げると、外来患者数を増やしていくということが挙げられているが、今回の決算を見ると、人数の改善は出来ても、結果的に一般財源からの持ち出しは増えている。その要因はどこにあると考えるか。

【A】病院運営事業費用として4億5千万の繰入れの内訳は、へき地医療の特別交付税と普通交付税を合わせて1億9千万であり、一般財源の繰入は2億6千万である。単年度の欠損金が出ており、自治体病院として黒字化していくのは、なかなか厳しい状況です。

病院としては、患者数を増やし収益を上げて行くこ



とは難しい状況ではあるが、費用の縮小と努力は必要であり、今後、療養病床の福祉的活用への模索、患者さんに不便をかけない医療機器更新の見直し、人員配置も含めた病院全体の見直しを図り、一般財源からの持ち出しを減らしていく努力をしていきます。

また、全国的に物価高の影響により自治体病院の95%が赤字の状況下において、国レベルの医療に対する措置（診療報酬の大幅な改定や引き上げ、緊急的な地方交付税措置等の拡充）も必要なことだと思う。

令和7年度 北海道町村議会議員研修会

7月8日、全道144町村約1千400名が札幌コンベンションセンターに参集し、北海道町村議会議長会主催による研修会が行われました。

また、7月9日には興部町議会議員研修を北海道大学北方圏フィールド科学センターで行いましたので、概要を報告いたします。

1、全道町村議会議員研修

「地方議会における議員の
多彩化に向けて」

「地域社会の「鏡」と
しての議会を考える」

西南学院大学 法学部

教授 勢一 智子氏

人口減少社会の中で地方
議会は地方の将来像を描
き、それに向けて限られた
予算の振り分け先を厳選し
なければならぬ。地域の
持続可能性、心豊かな暮ら
しができることを選択の基
準とする。そのためには、
若年世代、将来世代を含む
多様な主体の参画が必須で



あり、多様性に富む地方議
会での議論が必須となる。
多様な人材が議会に参画
するためには、ジェンダー
バイアスのない地域社会へ
と変わっていかなければな
らない。

「人口減少社会を生き抜く
ために」

人口戦略会議副議長

増田 寛也氏

2025年より地方創生
2・0へ移行していく。持
続可能な地方行政改革のポ
イントとなることを話され
た。

①人口減少社会の中、住み
やすい地域にしていくな
に市町村の業務を身軽にし



て大事な業務に力を注ぐた
めには

・市町村業務の一部を道に
移行

・市町村間の業務の協力

・民間も含めた多様な主体
との連携

・デジタル技術の推進をは
かる。

②地域居住の制度化を図
る方針である。

ふるさと住民登録等の住
民票を発行できる制度で地
方税を2か所に納税できる
ような制度を模索中。

③若者や女性に選ばれる地
域を作る。施策を総動員し、
働き方・職場改革をはかり、
無意識な差別意識のない地
域にする。

2、興部町議会議員研修

「北日本沿岸域における
「コンブ」について」

「コンブ漁業の将来を
考える」

考える

北海道大学北方生物圏
フィールド科学センター

教授 四ツ倉典慈氏

コンブ研究の第一人者で
ある四ツ倉氏にコンブの歴
史や多様性、北海道コンブ
の現状と課題、将来につい
て講義を受けた。

北海道のコンブの特徴

- ・世界にはない種と多様性。地域ごとにある種
- ・天然資源が中心
- ・和食を支える食材
- ・歴史の中で築き上げられた漁業と製品づくりと利用
- ・製品、浜格差、銘柄、流通など外国人には理解できない。



北海道大学北方生物圏フィールド科学センター



北海道コンブの課題

- ・環境変化による生育不良や分布域の変化
- ・生産体制の脆弱化
- ・消費の変化

興部で考えられる取り組み

- ・漁獲高の向上に向けて、雑海藻駆除と胞子散布、食害の防止
- ・半天然個体の育成
- ・生産の向上に向けて、早期種苗生産、長期屋内育成

その他

- ・漁業の魅力の発信
- ・環境耐性株の作出など
- ・興部のコンブを守るために私たちができることは興部のコンブを知り、魅力を伝え、たくさん食べること
- ・だと最後までとめられ、この事は地元でコンブ文化を創造することにつながっていく事だと感じた。

(記：議会広報特別委員会

委員長 大黒 敦子)

令和7年度

遠紋地区市町村議会議員研修会

7月26日、遠紋地区市町村議会議員研修で湧別町に伺いました。

今回の研修会は「湧別と

博物館文化財保護活動について」と題して、湧別町ふ

るさと館JRY館長中島一之氏から「湧別町の歴史、博物館の役割・教育活動」

について、学芸員林勇介氏から「埋蔵文化財シブノツ

ナイ堅穴住居跡」についてお聞きした。

中島館長の講演では、博物館の視点でみる「湧別町の過去と現代「資料集」」をもとに

・『地質時代からみた湧別』

・『湧別の気候（気温・降雪・降水）』

・『湧別先史文化』

・『アイヌの人々と和人の関わり』

・『屯田兵制度の概要』

・『湧別屯田兵のあゆみ』

・『開拓のあゆみ』

・『湧別町の農業と漁業』

・『湧別町のあゆみ』

・『湧別の今と人口の推移』

・『地名と歴史』

・『湧別のチューリップの歴史』

その後、休憩時間となり休憩中は博物館内の自由見学、屯田食（米・大麦・い

なぎびの混じった雑穀ごはん）の試食をしました。

休憩後、林学芸員の講演では「シブノツナイ堅穴住

居跡」という資料をもとに・『堅穴住居が窪みで残るまで』

・『発掘調査』

・『出土遺物』

について話されました。

講演後は、湧別町文化センターTOMに会場を移動し懇親会を行いました。

懇親会では、各議員それ

ぞれのテーブルにわかれ遠

紋地区市町村議会議長会

長の主催者挨拶、湧別町長の歓迎の挨拶、湧別町議

議長の乾杯のあと他市町村議会議員と意見交換などを

して懇親を深めました。

懇親会の締めくくりに、次回開催地である興部町議会藤渡議長が挨拶されました。

(記：議会広報特別委員会 副委員長 桑辺 博教)



議員なり手不足検討特別委員会 行政視察報告

去る令和7年8月28～29日に北竜町議会、新十津川議会を訪問し、議員のなり手不足対策・議会改革について調査、意見交換を行いましたので概要を報告いたします。



北竜町議会

北竜町基本情報

- ・人口 1千575人
(令和7年8月31日現在)
- ・主要産業 農業(稲作・メロン・スイカ・花)
- ・町のシンボル ひまわり

北竜町議会の状況

- ・議員定数 8名

(欠員0・女性議員2名)
令和5年の選挙では町政始まって以来1名の定員割れとなったが、その後議員の死去、町議の一人が町長選へ出馬のため、令和6年には3名の補欠選挙を行うことになった。元議員1名を含む3名が立候補し、欠員はない状況となった。

・当選回数別議員数

- 1回5名 2回2名
- 3回0名 4回0名
- 5回1名

・年齢別議員数

- 50代1名 60代6名
- 80代1名

北竜町議会中村議長は、今回補欠選挙になった要因



として次の3点を挙げた。

- ①人口減少により、地域で議員を推薦することができなくなった。
- ②町のためにという意識の薄れ。
- ③一気に経験者が議員を辞めた。

議員構成が刷新されたことにより、町民との意見交換の場である議員カフェに若い人の参加が増えた。

「活動を通じて、議会は楽しいものという印象を持ってもらえるようにしていきたい」という議員の声が印象的だった。

当議会より、なり手不足検討特別委員会竹内委員長

がなり手不足対策としての議員の学校(塾)開設、議員報酬改定を中心にこれまでの議会活動の取り組みの経緯を説明した。

その後、2グループに分かれて、意見交換を行い研鑽を深めた。

地域は違っても、なり手不足の原因として考えられることや対策について共通することも多く、意見交換の場では議員報酬やなり手対策について活発な発言のもと、有意義な交流が図られた。

特別委員会

委員 大黒 敦子



新十津川町議会

新十津川町基本情報

- ・人口 6千165人
(令和7年8月31日現在)
- ・主要産業 農業(稲作・メロン・トマトなど)
- ※酒造好適米の作付面積は全道一を誇っている。
- ・町の木 オンコ
- ・町の花 ツツジ

新十津川町議会の状況

- ・議員定数 11名

(欠員1名・女性議員5名)
令和5年の選挙で定数11名に対し現職6名、新人6名の12名が立候補し、投票の結果、現職6名、新人5名が当選した。

その後、議員の逝去により1名の欠員となっている。

・当選回数別議員数

- 1回5名 3回3名
- 4回1名 8回1名

・年齢別議員数

- 30代3名 40代1名
- 50代1名 60代3名
- 70代1名 80代1名
- 平均年齢約54歳

(前回選挙後の平均年齢は約66歳)

新十津川町議会小玉議長より、なり手不足対策として議会・議員の魅力発信、議員になってほしい人材にアプローチ、議員の仕事内容や選挙の仕組み等の発信など様々な取組を話されました。

なかでも次回選挙に現職議員が立候補するかしないかを早めに町民に発信し欠員の可能性がある危機感を共有したのが印象的でした。当議会より、なり手不足検討特別委員会竹内委員長がなり手不足対策としての



議員の学校(塾)開設、議員報酬改定を中心にこれまでの議会活動の取り組みの経緯を説明しました。

その後、2グループに分かれて、議員活動の悩みやなり手不足対策の考えなど様々な事柄について意見交換を行いました。

意見交換の中で若手議員に立候補した理由を聞いたところ「若い人が立候補予定だから」「議員報酬がまわりより高いから」という理由が印象的でした。

(記)議員なり手不足検討

特別委員会

委員 桑辺 博教

令和9年度の改選期からの適用に向け 議員報酬改定の申入れを行いました

興部町議会では、深刻な議員のなり手不足を解消し、幅広い人材を議員として確保できるよう検討する必要があることから、令和5年9月に議員なり手不足検討特別委員会を設置し、議会モニター制度、議員の学校、勤労者の参画、議員報酬、議会報告会・意見交換会等の項目について検討・協議を重ねてきました。この度、委員会による議員報酬に関する協議の結果がまとまり、9月3日、

藤渡議長から裕町長に対して、町の諮問機関である「興部町特別職報酬等審議会」に諮り、令和9年度の改選期から議員報酬改定の適用に向け、検討を行っていただくよう申し入れを行いました。また、今年10月から、議員に関心、興味のある方を対象に、「議員の学校(塾)」を開校し、なり手不足解消に向けた取り組みを行っています。



【議員なり手不足検討
特別委員会の協議結果】

全国の地方議会では、慢性的な担い手不足が深刻化しています。

この問題には様々な要因が絡み合っていますが、都道府県議会議員、市区議会議員と比べて著しく低い議員報酬(全国平均月額約21万9千円【令和6年7月1日現在】)が大きな影響を及ぼしていることは明らかであります。

町村議会の議員報酬月額の水準は、全国的に見ても永きにわたり町村長の給料月額の約30%程度に据え置かれたままであり、それだけでは生計を維持できない

ほど低水準であることが指摘されており、興部町議会の議員報酬は、平成15年(2003年)当時、行政改革等により財政の歳出縮減が求められ、議会議員においても身を切る改革として議員報酬の削減を行い、約20年間全国平均を下回る町長の給料月額(74万円)の25%(18万5千円)のまま据え置かれ今日に至っております。

このことは、現状として結果的に、地方議会の議員

報酬の低さから、特にサラリーマンや子育て世代の議員の擁立を妨げる要因の一つとなっており、意欲あふれる若い町民や女性の地方議会への参画など、多様な人材が地方議会に関わることは、住民自治の推進そのものであり、次世代の担い手となる人材を確保することは、今後のまちづくりに関わる大きな財産となると考えます。

興部町議会では、令和元年に「興部町議会改革特別委員会」を設置し、なり手不足の対策として、議員定数や議員報酬、兼業・兼職の禁止、勤労者・女性の参画、議会運営、選挙公営制度など10項目について、調査・検討を実施し、議員活動と家庭生活の両立支援策をはじめとした、興部町議会会議規則の一部改正、選挙運動の公費負担に関する条例の制定、令和5年の統一地方選挙から、議会議員の定数を1人削減し、9人に改正しましたが、令和5年4月の町議会議員選挙に

おいては、議員定数9人に対し8人の立候補となり、2回連続で定数割れ、3回連続で無投票（補欠選挙を含めると4回連続）となりました。

議会は、住民を代表する公選の議員をもって構成される地方公共団体の意思決定機関であり、無投票選挙により住民自治が十分に機能されないことは大変憂慮すべき事態であり、令和9年度は改選期となるため、議員なり手不足の解消は、喫緊の課題であります。

以上のような理由から、令和9年度の改選期に向け、次のなり手となる地域住民の議員立候補に伴う環境整備の一環として、興部町議会議員の報酬は見直しをすることが必要であるとの協議結果に至りました。

議員報酬の改定額（案）につきましては、議論を重ねた結果、原価方式「興部モデル（活動日数100日）」により、現行の議員報酬に対し、5万8千円増の24万3千円が妥当であ

り、改定の時期は、選挙が行われる1年前の令和8年3月定例会において条例改正を行い、改定後の議員報酬は、令和9年度の改選期からの適用が望ましいとの結論になりました。

過日、令和7年6月27日（7月4日にかけて、町民の皆様（興部・沙留会場）、町内の団体（沙留漁業協同組合・興部町商工会・JA北オホーツク農業協同組合）と議員報酬の改定・議員なり手不足解消について、意見交換会を行い、一定程度のご理解をいただいたところであります。

また、議員報酬の改定（見直し）については、平成15年からこれまで、検討がされていなかったことの反省をふまえ、今後は一定期間で報酬審議会等での議員報酬について検討が必要であると考えているところであります。

以上、議員なり手不足検討特別委員会の協議結果について、ご報告させていただきます。

主役は
あなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は 12 月です○

会期:12月11日(木)～12日(金)(予定)

一般質問:12月11日(木)(予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※傍聴時には、手指の消毒にご協力をお願いいたします。
マスクの着用は、個人の判断でお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135

「空き家・空き地」情報バンク事業について

8月22日、担当課、まちづくり推進課より、同事業の現況・進め方について聞き取り調査を行いました。

町中に、「空き家・空き店舗」が目立っている。総務省の調査、推定では、2033年には全国で、「3戸に1戸が空き家になる。」という報告もあります。

【私共の町の対策は？】

「空き家・空き地」情報バンクは、町内に「空き家・空き地」を所有し、売却や賃貸を希望されている方と、住宅や土地を探している方とを紹介する事業で、平成22年よりスタートしている。

町のホームページや固定資産税納付書内に案内のチラシを同封し、情報登録者の募集と情報を提供している。

令和6年度の現況は、個人所有空き家157件、町所有の空き家74件、国・道



所有空き家24件、合計255件。

これまでに登録された「空き家・空き地バンク」の登録件数

・空き家 26件。
・空き地 26件。

地区別登録件数

・空き家 興部地区21件、沙留地区3件、宇津地区1件、秋里地区1件。
・空き地 興部地区16件、沙留地区10件。

登録された物件の動向
・空き家 売買11件、賃貸5件、登録抹消4件、登録中6件。

・空き地 売買23件、賃貸2件、登録抹消1件。

【今後の取り組みについて】

固定資産税納付書同封のチラシについては継続し、新たな取り組みとして、物件を購入された方の感想インタビュー記事や、リフォームした場合のビフォー・アフターを写真で紹介するなどを考えている。

【委員との質疑応答】

問 町ホームページで「空き家・空き地情報バンク」のページが見つけづらいが、改善が必要ではないか？

答 ホームページでは、トップ画面の「情報を探す」の画面に「引越・住まい」の項目があり情報が掲載されているが、探しやすいようホームページのレイアウト等を考えていきたい。

問 購入時のリフォーム等について、補助はあるのか？

答 町では今まで中古住宅の購入費用に対し補助を実施していたが、今年からリフォームに係る経費についても補助することとしており、対象経費の拡大を図っている。

問 街中の大きな建物の対応は？

答 空き店舗については、「まちづくり」「商店づくり」を考え、危

険家屋とならないよう、商工会と連携して、今年度から上限を500万円とする空き店舗等再生応援事業制度を創設し、空き店舗の利活用の推進を図る。

問 現在の危険家屋の数はいくつ？

答 危険家屋が2件、要注意家屋が13件である。

問 これからリフォームの時代でもあると思うが、技術を持っている「大工さん」も少なくなっている。そのような「技術」を持っている人の紹介や、光をあてる施策も必要ではないか。

答 改修等を行う大工職人が不足していくと、住宅修繕が停滞だけでなく、できなくなることから、担い手を育てる・確保する施策は、今後考えていきたい。

(記…総務社会常任委員会
副委員長 前田 義雄)

中山間地域等直接支払交付金事業について

令和 7 年 8 月 21 日、標記事業について産業振興課長より説明を受けました。

標記交付金は、農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持管理していくための取り決めに締結し、それに従って農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額が交付されます。

■令和 6 年度の事業概要



【交付対象面積】

面積は、4 千 3 8 9 ヘクタールであり、全体農地面積からデントコーン面積と所得超過者面積を差し引いた面積です。

【交付対象者】

対象者は、集落協定または個別協定に基づき、5 年以上継続して耕作を行う農業者等であり、交付農用地を持つ農業者 42 名、農地所有資格法人 17 名、その他を含め合計 72 名となっています。

【活動要件】

①農業生産活動等を継続するための活動（耕作放棄の発生防止、水路・農道の管理活動等）

②集落戦略の作成（集落全体の将来像、課題、対策について話し合いを通じての指針作成）

【活動内容】

共同取り組み分として、廃プラスチックの回収、乳質改善対策として乳質改善協議会への支出、ヘルパー組合への助成やシカ駆除における対策費支出など。また、オルソ（※）更新や防疫車購入にも取り組んでいます。

※オルソ画像…空中写真を位置ズレのない画像に変換し、正しい位置情報を付与した画像情報。

【交付金】

交付金は、1 ヘクタール当たり 1 万 5 千円であり、交付対象面積から 6 千 5 8



3 万 7 千円が交付されています。内訳は、国 2 分の 1、道・町が 4 分の 1 ずつです。

主に円安などによる農機具・資材、修理費や飼料・肥料の高騰で、農業経営はますます厳しさを増していると思われませんが、本補助金のより有効的な活用によって、少しでも経営が安定することを期待します。

（記…産業建設常任委員会
委員長 鈴木 精一）

興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去 10 年間の議会だよりを掲載しています。議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



議員活動報告

議会全員協議会

議長 藤波 昭博

8月21日、9月16日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

8月21日

○興部町国保病院経営分析業務委託について

○興部町子育て支援員研修受講費用助成事業の実施について

○国道238号水道管道路横断工事について

○興部北興バイオガスプラント設置及び管理条例施行規則の一部改正について

○農林漁業循環経済先導計画策定支援事業について

○プレミアム商品券事業について

○興部町農業経営発展支援事業について

○興部町民間賃貸住宅建設支援事業に係る経過報告について

○興部町議会タブレット端末

末運用規定の新規制定について

9月16日

○興部浄水場濁度・色度計修繕について

議会運営委員会

委員長 前田 義雄

9月1日、9月19日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

9月1日

○令和7年第3回議会定例会の運営について

9月19日

○令和7年第3回議会定例会の運営について

議員なり手不足検討特別委員会

委員長 竹内 清

8月21日、9月19日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

8月21日

○議員の学校（塾）の開校について

○議員報酬の改定（見直し）に伴う協議結果について

9月19日

○議員の学校（塾）について

議会の動き

令和7年8月6日以降

8月6日・紋別広域病院企業団議会臨時会
14日・魚霊祭及び海上遭難者慰霊祭
18～19日・議会広報研修会
20日・第1回北海道興部高等学校間口確保対策協議会
〃・網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会役員会・総会及び研修会
21日・議会全員協議会
〃・議員なり手不足検討特別委員会
〃・産業建設常任委員会所管事務調査
22日・タブレット操作講習会
〃・総務社会常任委員会所管事務調査
25日・興部高等学校議長講話
28～29日・議員なり手不足検討特別委員会行政視察
31日・遠軽駐屯地創立74周年記念式典
9月1日・議会運営委員会
2日・興部高等学校事務局長講話
3日・興部町敬老会
8日・第3回町議会定例会(1日目)

8日・議会広報特別委員会
〃・決算審査特別委員会(1日目)
15日・滝上町国民健康保険診療所竣工式
16日・決算審査特別委員会(2日目)
〃・議会全員協議会
17日・決算審査特別委員会(3日目)
19日・議会運営委員会
〃・第3回町議会定例会(12日目)
〃・議員なり手不足検討特別委員会
20日・第2回北海道興部町植樹
25日・遠紋地区市町村議会事務局研修会
26日・広域紋別病院企業団議会定例会
29日・乳牛感謝祭及び牛馬祭
29～10月3日・産業建設常任委員会道外行政視察
2日・遠軽町合併20周年記念式典及び記念講演
4日・第44回札幌おこっぺ故里会総会
5日・興部牛乳の里マラソン大会

6日・興部高校の将来について考える連携協議会
6～7日・第72回町村議会事務研究会
8～9日・遠紋地区市町村議会議長会事務局長研修会
14日・議会広報特別委員会
17日・議員の学校（塾）第1回開校式
19日・興部中学校学校祭
〃・西興部村開村百周年記念式典
20日・北海道知事の地域訪問に係る懇談会
24～25日・オホーツク圏活性化期成会北海道要望（秋季）
26日・興部小学校学芸会
〃・沙留小学校学芸会
28～29日・合同常任委員会道内行政視察
31日・オホーツク町村議会議長会職員研修会
〃・議員の学校（塾）第2回
11月10日～14日・北海道「命のみち」づくりを求める東京大会・第69回町村議会議長全国大会・高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望活動

世界とつながる子ども達

ALTカール先生を訪ねて

秋空が広がる9月22日。興部小学校4年生で授業をするカール・ハンソン先生（37歳）を訪ねました。取材に行って言葉が通じるかしら？ 授業を見ても、何を話しているか理解できるかしら？ と少し緊張して教室に入りました。

今回の表紙



Thank you for your dedication.
We hope that Mr. Carl's dream will come true.

教室では、カール先生の発する文房具の名前のカードをとるゲームの真っ最中。子どもたちが真剣に聞き入り、発音もしつかりと答えている姿に驚きました。

教頭先生はカール先生はとても堂々としていて、落ち着いてわかりやすい授業をしてくれていると、評価します。

英語は5年生から正課となります。3年生、4年生は、まず楽しくネイティブイングリッシュに触れて話す・聞く・事に慣れコミュニケーションが取れる事を目標にしています。興部町では小中学校以外でも、保育所、幼稚園、高校と毎日どこかでカール先生が活躍しています。興部に来て4年目、すっかり子どもたちもおなじみのカール先生になりました。

カール先生の出身地は、カナダアルバータ州カルガリー。カルガリー大学で社会学部を卒業後、レスブリッジ大学で教育学を4年間学んでから興部町のALT（外国語指導助手）になっています。

興部町の印象を訪ねると、人が優しい、住みやすいとのこと。「モーソー城から見景色が好き。秋は特に紅葉がきれいです」と答え、取材のためにスーツとネクタイ着用で臨んでくれたまじめなカール先生ですが、日本のアニメや、カラオケが大好きな好青年。本当はスキーもしたいが、29・5センチのスキー靴レンタルがないのでスキー場は見ただけとなっているそうです。将来は日本での経験を活かし、カナダで中学校の先生を目指したいと話してくれました。

外国語が話せることは、子どもたちにとって、視野を広め、これから世界と繋がっていくのに必要な力です。カール先生が子どもたちと、真摯に向き合っていたいっていることに感謝すると同時に、先生の夢がないままよう、お祈りいたします。

（記…広報特別委員会
委員長 大黒 敦子）

編集後記

町民の皆さんは、どんな秋をお楽しみですか。

今年も暑い熱い夏が終わり、食欲・スポーツ・読書等いろいろな秋です。

しかし、ホタテの稚貝の作業が海水温が高く大幅に遅れるなど、何か昔と違いますね。気温、獲れる魚、季節感。

やはり私がいつも思い出すのは、沙留の沖に見えていた多くの漁火です。

船の灯りが少し暗くなり赤色に変わった時、「おー！切り替えた、秋刀魚の網の引き上げだ」と、陸からわくわくして見ていたことを思い出します。あの秋刀魚はどこに行つたのか、あれだけ獲れたイカはどうしたのか。いつか沙留の獲りたての秋刀魚を、刺身や焼き魚でもう一度食べてみたいのです。

鮭も高値で今年も筋子、イクラと手が届かなくなりそうです。

しかし夏の猛暑で果物は甘く美味しいそうです。

雪が降る前にもう少し秋の食などを楽しみ、そして冬に備えましょう。

（記…議会広報特別委員会
委員 竹内 清）

広報委員長 大黒 敦子
副委員長 桑辺 博教
委員 竹内 清
委員 鈴木 精一

議会事務局長 須田 寿史
議会事務局主事 齊藤美早紀